

観光社会資本の事例

| | |
|--|-----------------------|
| テーマ | 大勢の人々にぎわう道の駅「マオイの丘公園」 |
| <p>【施設の状況写真】</p> <p>国道274号(石勝樹海ロード)沿いにある、道内37番目の道の駅。センターハウスには展望台、マルチビジョンによる交通・観光情報の提供、レストラン、地場産品販売店、ギャラリー等があり、野外スペースには農産物直売所、パークゴルフ場、各種広場、トイレが整備されています。</p>  <p>道の駅「マオイの丘公園」</p> | |
| <p>【施設の利用写真】</p>  <p>サイロをイメージした4本のシリンダーで構成されたセンターハウス。市民サークルの活動の場としても利用されている。</p>  <p>年3回行われる販売セールで賑わう農産物直売所。新鮮な野菜を求めて多くの人々が訪れる。</p> | |
| <p>【観光資源としての利用状況】</p> <p>道の駅「マオイの丘公園」は、展望台やレストラン、売店、交通・観光情報を提供する情報端末等を備えたセンターハウスを中心に、野外には農産物販売所、パークゴルフ場等も備え、地元住民や旅行者等、大勢の人達に利用されています。農産物直売所では、直売所前面オープン記念(6月)、収穫祭(9月)、大感謝祭(11月)の年3回、販売セールを行っており、長沼産の豊富で新鮮な野菜を求めて大勢の人達が道の駅を訪れ、休日には駐車スペースが常時いっぱいとなりにぎわいを見せています。</p> | |

| | |
|---|------------------------|
| テーマ | 大勢の人々でにぎわう道の駅「マオイの丘公園」 |
| <p>【社会資本の基礎データ】</p> <p>名称 マオイの丘公園(まおいのおかこうえん)</p> <p>所在地 北海道夕張郡長沼町幌内</p> <p>事業名 「道の駅」マオイの丘公園事業</p> <p>事業主体 長沼町(休憩施設、道路情報、トイレ)、北海道開発局(標識、道路情報端末、駐車場、右折レーン)</p> <p>事業期間 平成5年～平成8年</p> | |
| <p>【社会資本の役割・効果】</p> <p>休憩機能 センターハウス内のレストランや、野外スペースの広場が、道路利用者の休憩場所として利用されています。</p> <p>情報発信機能 センターハウス内には、情報コーナーが設けられており、情報端末やマルチビジョン、各種パンフレット等により、道路情報、気象情報、観光情報等、利用者のニーズに合わせた様々な情報提供を行っています。</p> <p>地域連携機能 野外に設けられた農産物直売所では、地元農産物を求めて大勢の人々が訪れ、地域の人々によるにぎわいやふれあいの場として利用されています。</p> | |
| <p>【位置図】</p> | |
| <p>【関連ホームページ】 長沼町役場 http://www.maoi-net.jp/ マオイの丘公園 http://www2.maoi-net.jp/index.html</p> | |